



2020. 11. 2

インドステイト銀行向けシンジケートローンに参加 ～インドの日系自動車メーカーの現地生産・販売活動を側面支援～

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、お取引先のインドでの事業展開を支援するため、インドステイト銀行（State Bank of India<以下、SBI>）に対する総額 1,000 百万米ドルのシンジケートローンに参加しましたので、その概要をご案内します。

1. シンジケートローンの概要

- (1) 契約締結日／10月27日（火）
- (2) 組成金額／1,000 百万米ドル（約 1,050 億円）
- (3) 参加金融機関／6 行（静岡銀行、国際協力銀行、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、みずほ銀行、横浜銀行）

2. シンジケートローン組成の背景・目的

- SBI は、インド政府が過半を出資する同国最大の国営の商業銀行であり、静岡銀行とは 2013 年に「業務提携」を締結し、お取引先企業の現地での事業展開をサポートしています。
- 今般のシンジケートローンは、日系自動車メーカーのサプライヤーおよびディーラーが製造・販売事業、販売金融事業を展開するための資金として、SBI が同事業者に対し融資する原資となります。
- インドの自動車市場は、2019 年度の販売台数ベースで世界第 5 位であり、今後も市場拡大が見込まれています。また、日系自動車メーカーの海外展開にとって重要な市場であるとともに、静岡県内の自動車関連企業も多く進出されています。
- こうしたなか、現在、インドでは、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動は停滞し、自動車販売も不振が続いています。
- 静岡銀行では、本融資を通じて、インドにおける日系自動車メーカーの生産・販売活動全体に円滑な資金供給を行うことで、日本の産業の国際競争力の維持・向上を支援します。
また、今後も、業務提携先や他の金融機関との連携を強化することで、お取引先企業のさまざまな海外関連ニーズに対して適切なソリューションを提供する方針です。